

## なんだ・かんだ

### ◆ 貿易自由化と農業 ◆

FTA(自由貿易協定)・EPA(経済連携協定)など、日本の経済連携交渉がなかなか進まず、韓国に遅れを取っています。日本が協定を結ぶ国は交渉中も含め貿易総額の36%程度。一方韓国は60%強になるそうです。また、韓国は米国やEUとも協定に署名済みで、5年から10年以内に関税が撤廃されることとなりますが、韓国と日本は、自動車や電子部品など輸出品目が類似し、競合する場面が多くその影響は多大です。日本からの輸出に際し、EUは乗用車で10%・薄型テレビで14%、米国へのトラックには25%の関税がかかっているようで、この様に日本企業が支払う関税額は年間2兆円を越えているそうです。このままでは輸出競争力に深刻な影響を及ぼし、製造拠点は海外へ移転し、国内は空洞化してしまうことになります。

当社のような製造業に依存した内需型企業は、何となくでも早急に日本も主要各国との協定締結をしてもらいたい訳ですが、そこに日本の農業問題が横たわっています。

韓国でもFTAに踏み切る際に、米を除く大半の農業分野の関税を撤廃し、相応の痛みを伴いました。イ・ミョンバク大統領は協定締結による影響を試算し、各分野への対策費を予算化。また、協定締結反対の世論対策のために相当の広告費を投じたそうです。

先日、来年度の予算案が閣議で決定され、その中で、農家への戸別所得補償が8000億円強と拡充されました。米については、法人化する集落営農に加算措置を設け、小麦や大豆などには法人加算の他、高品質農作物を作る農家も優遇。競争力を高めようと努力する農家が報われる仕組みも取り入れるそうです。

一方昨年度、中国はトウモロコシを大量に米国から輸入しています。大豆はすでに世界最大の輸入国で、ほぼ100%を輸入に頼っている日本の輸入量の10倍超。食用油や飼料に当てられ、その大半は遺伝子組み換えの大豆だそうです。日本はしょうゆや豆腐の原料として、非遺伝子組み換えの大豆を輸入しており、栽培に手間暇がかかり、割増金を支払わなければならないようになっていて、その価格は10年前の3倍に上昇していると言っています。

味噌を製造する大手企業は、それまでカナダや米国からの輸入に頼ってきたのをアルゼンチンなど調達先を増やし、天候不順や価格高騰による調達難に陥るリスクを回避するように動いているそうです。

この様な中国のバイイングパワーによる農作物の輸入価格高騰は、他の農作物にも影響しているそうです。

また、日本がこれまで中国からの輸入に頼っていたそば粉が値上がりしているそうです。それまで蕎麦栽培をしていた農家が、トウモロコシや小麦の価格が高騰したため、相次いで転作したためだそうです。

中国の富裕層では、安全で美味しい日本の農作物が、高値で売れていると言います。時代は刻々と変わっていきます。日本の農業にもまだまだ勝機はあるかもしれません。

FTA・EPA締結が、結果的に農家の方にも利益が出るような形で締結されれば良いのですが。

早いもので、今年も早暮れようとしております。今年の世相を表す漢字は「暑」でした。夏の平均気温は統計史上最高を記録し、富士山の永久凍土もほぼ消滅してしまいました。一年を通しての平均気温も史上4番目だそうです。(世界的には史上2番目という事です)。また、雨も多い年でしたが、台風は14個と史上最少でした。エルニーニョやラニーニャ現象が影響しているとのことですが、異常気象は続いています。

さて、来年の干支は卯(うさぎ)です。素早い動きとジャンプ力が特技のうさぎは、「飛躍」を表すそうです。また、うさぎは家族愛を象徴する干支でもあり、「家内安全」も表しているそうです。

今年「寅」年で、勢いの年でしたが、来年も兎のような跳躍力をもって、更に「飛躍」できる年にならうと思っております。

皆様におかれましても、うさぎの様に「家族が仲睦まじく、健康で一年大過なく過ごせますよう。そして素晴らしい飛躍の年になりますよう」に心より祈念いたします。一年間どうもありがとうございました。そして、来年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 服部殿一郎

卯年は飛躍の年

### 住宅エコポイント制度延長と対象拡充

本通信の50号でも紹介させていただきました、住宅エコポイント制度が延長及び拡充されました。

- ① 省エネ基準にあった居住用の新築建物
- ② 窓の断熱工事で、1. 内窓の新設 2. 複層ガラスなどのガラス交換 3. 枠ごと新しい断熱サッシへ交換。そして、外壁・屋根・天井・床の断熱工事
- ③ ①又は②と同時施工のバリアフリー工事で、手摺り設置、段差工事、廊下幅等の拡幅工事など。

上記の従来の対象工事に加えて、リフォーム等に併せて設置する省エネ性能が優れた住宅設備の一体的導入を促進するため、

- ④ 住宅用太陽熱利用システム(ソーラーシステム)、節水型便器、高断熱浴槽など

へポイント発行対象が拡充されます。

拡充された住宅設備部分については、平成23年1月以降に工事着手するものを対象とし、平成23年1月11日から申請受付(戸別申請のみ)を開始します。(一括申請の申請受付は、平成23年2月上旬に開始する予定です。)

リフォームをお考えの方は、当社営業までご相談下さい。



### ■ 年末年始の休暇 ■

本年は12月28日(火)まで営業致します。

**年末年始休暇：12月29日(水)から1月4日(火)まで**  
7日間とさせていただきます。新年は1月5日(水)より営業致します。又、年明けの8日は、第2土曜日ですが、通常通り営業いたします。

メーカーによって、年末年始の受注及び製品出荷可能日が異なります。お得意様におかれましては、当社営業と年末年始の注文についてお打ち合わせいただき、生産に支障の無いようお願い致します。ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

・ 株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL <http://www.chikiri.com/>